

あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者
おだか陽一後援会
発行責任者：小高信一
長生村岩沼619
TEL・FAX (32) 3949

令和5年 会報
新年号



明けましておめでとうございます



おだか陽一後援会
会長 小高 信一

**村の利点を生かした
『魅力あるまちづくり』の
施策を期待します**

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素から「おだか陽一後援会」にご支援、ご高配を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症状況は終息傾向になると新しい変異株が広がり現在も予断を許さない状況が続いています。経済活動もコロナ禍前と比べるとまだ道半ばと思われる。心の持ちようが希望に満ちた初春とはいえない中での出発となりませんがポジティブに捉えて前進されますよう祈念します。

昨年の後援会活動については、「コロナ禍による行事の自粛が続いており、前期の行事である総会、親睦旅行は中止とさせて頂いたままでしたが、後期の村政報告会は十一月に交流センターで感染防止対策をとりながら実施しました。

小高村長の村政は、昨年の後半に住民参加の行事について実施する方向に舵を切っていることから、今後は自粛していた行事も再開することが予想されます。

一方、人口減少に歯止めをかけた魅力のある住んでよかったまちづくりを旗印のもと、旧中央公民館の跡地の駐車場が出来上がり、

交流センターの利用率も上がっているように思います。なお、八積駅南側広場のラウンドアバウトの問題点も見直しを図ることで近日工事着工となるようです。

本年は、コロナ禍が終息し、活動の制限が解除されることを祈りつつ、後援会では、「コロナ禍前に実施していた各種行事の再会を目標に掲げ、実施するための方策を検討してまいりますので皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



小高村長の村政においては、住んでよかった村づくりを更に展開し、千葉県唯一の村の利点を生かした魅力あるまちづくりのための諸施策を実施していくことと思えます。そのために、小高村長を強力に支援していただくことをお誓い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ「おだか陽一後援会」を代表しての年頭のご挨拶と致します。

**今年が長生村施行
七十周年！**



村長 小高 陽一

明けましておめでとうございます。会員の皆様、村民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ただ、「コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻も長期化しており、私達の苦しい生活も年を越してしまいました。

世界中には、私達の小さな力ではどうにもならないことがたくさんあり、日本がこうして平和にお正月を迎えられたことに、ただただ感謝するばかりです。

広報一月号に掲載しましたが、村議会十一月会議で、「中学三年生から高校生等応援給付金事業」二十五百万円を含む補正予算案が可決されました。

これは、電気料、食料品等価格高騰の影響により、今